学校番号	203

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ（理系）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説世界史」（山川出版社）						
副教材等	「アカデミア世界史」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史は単に人名や事件名を暗記するだけの科目だと思っている人が多くいます。しかし「なぜそれらが重要な知識であり、覚える必要があるのか」を理解しなければ、それは覚えても全く「意味のない知識」となってしまいます。過去に起こった様々な出来事が「なぜ起こったのか」、「なぜ重要なのか」という「なぜ」を常に考えて歴史から学び、これからの世界を担っていくための生きた「知恵」とすることが肝要なのです。。そのためにはただ受動的に授業を聞くだけでなく、常に「なぜ」という視点を持ち、周囲の生徒との対話なども含めてその問いを考える習慣をつけて下さい。

2　学習の到達目標

・色々な歴史的史料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代社会の課題を歴史的観点から考察し、未来へつなぐ。
・世界の歴史を地理・日本史と関連付けながら理解する。
・歴史の流れを理解し、広い視野に立って物事を把握できる力を持つ。
・グローバル社会に生きる現代の世界市民として、自覚と責務を果たすように努力する。。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する興味・関心を高め、意欲的に追究するとともに、グローバル時代んにおける立ち位置を見定める。	現代世界の諸課題を歴史的視点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に関する史料を収集し、情報を選択して読み取ったりまとめたりしている。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的視点や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。

評価方法	ワークノート レポート プリント	定期考査 ワークノート	定期考査 ワークノート	定期考査
	［主題学習］ 図説・史料	［主題学習］ レポート	［主題学習］ 地図・史料	［主題学習］ 内容のまとめ レポート
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期前半	近世ヨーロッパ世界の形成	大航海時代 ルネサンス 宗教改革	○	○	○		a: 自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。 b: 近世ヨーロッパについて、多面的・多角的に考察し、その成立過程の特徴を適切に表現している。 c: 近世ヨーロッパについて、地図や史料を適切に取捨選択し、読み取ったりまとめたりしている。 d:近世ヨーロッパについて、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。世界が一体化する時代、世界をつなぎ、広い視野で時代をとらえる。	定期考査 レポート ワークノート

一学期後半	近世ヨーロッパ世界の展開	主権国家体制の成立 重商主義と啓蒙専制主義 海外進出と近代世界システムの成立		○	○	○	a: 自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。 b: 近世ヨーロッパについて、多面的・多角的に考察し、その成立過程の特徴を適切に表現している。 c: 近世ヨーロッパについて、地図や史料を適切に取捨選択し、読み取ったりまとめたりしている。 d:近世ヨーロッパについて、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。世界が一体化する時代、世界をつなぎ、広い視野で時代をとらえる。	定期考査 レポート ワークノート
二学期前半	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命とナポレオン		○	○	○	a: 自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。 b:近代ヨーロッパ・アメリカ世界について、多面的・多角的に考察し、その発展過程を適切に表現している。 c:近代ヨーロッパ・アメリカ世界の発展について、事例の考察に必要な史料を適切に取捨選択し、まとめたりしている。 d: 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の発展について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。近代世界システムの成立を多角的な視野でとらえて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 レポート ワークノート

二学期後半	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	ウィーン体制の成立と動揺 南北アメリカの発展 アジア諸地域の動揺	○	○	○		a： 自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。 b:近代ヨーロッパ・アメリカ世界について、多面的・多角的に考察し、その発展過程を適切に表現している。 c:近代ヨーロッパ・アメリカ世界の発展について、事例の考察に必要な史料を適切に取捨選択し、まとめたりしている。 d: 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の発展について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。近代世界システムの成立を多角的な視野でとらえて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 レポート ワークノート
三学期	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	まとめ	○	○	○	○	a： 自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。 b:近代ヨーロッパ・アメリカ世界について、多面的・多角的に考察し、その発展過程を適切に表現している。 c:近代ヨーロッパ・アメリカ世界の発展について、事例の考察に必要な史料を適切に取捨選択し、まとめたりしている。 d: 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の発展について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。近代世界システムの成立を多角的な視野でとらえて理解し、その知識を身につけている。	ワークノート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。